

# 児の喘息発症と母親の葉酸サプリメント摂取状況との関連

メタデータ	言語: jpn 出版者: 日本DOHaD研究会 公開日: 2018-03-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 金高, 有里, 荻原, 重俊, Kintaka, Yuri, Ogiwara, Shigetoshi メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10271/3299">http://hdl.handle.net/10271/3299</a>

## 児の喘息発症と母親の葉酸サプリメント摂取状況との関連

金高有里<sup>1)</sup>, 荻原重俊<sup>2)</sup>

1) 十文字学園女子大学, 2) 都立小児医療センター

【目的】喘息の発症に関わる周産期環境因子としては母の喫煙、低栄養、人工乳、葉酸過剰摂取等の報告がある。妊娠期の葉酸摂取により胎児の神経管閉鎖障害の発症リスクを低下させるという報告から、海外では葉酸摂取の義務化・強化が行われている。ノルウェー、オーストラリアにおいて葉酸サプリメントの過剰摂取が児の喘息発症のリスクとする報告があるが、摂取の時期によりリスクに影響が見られる時期が異なる。また、喘息発症と関連がないとする報告もある。日本においては詳細な検討が見られないことから、本研究では妊娠期の葉酸サプリメントの摂取量と児の喘息発症の関連を検討することを目的とした。

【方法】対象は北海道、札幌市・石狩市の17か所の保育園に通う児童の保護者とし、児の性別、両親の喘息罹患状況、両親の喫煙歴、児において関連が報告されているウイルス罹患状況、妊娠前期と妊娠後期に用いた葉酸サプリメントの種類および摂取量について自記式質問紙調査を行った。解析の対象者は、児の性別、喘息の有無、葉酸サプリメントの摂取量について欠損が無かった者とした。

【結果】母親の妊娠期間において、前・後期にわたり葉酸サプリメントを摂取していた群では、摂取していない群と比較して児の喘息罹患率が有意に高い結果となった。また、葉酸サプリメントを妊娠前期のみ摂取していた群では児に喘息罹患者が認められたが、後期のみ摂取していた群では児の喘息発症は認められなかった。

### 【結論】

妊娠中の葉酸サプリメントの摂取は、児の喘息発症に影響を及ぼし、摂取時期としては後期よりも前期の関与が大きい可能性がある。